



**日本分類学会連合のトピックス**

**第 22 回日本分類学会連合公開シンポジウム**

日本分類学会連合第 22 回公開シンポジウム「標準和名って何? ~その歴史と現状、展望まで~」が以下の要領で開催されます。

- 主催** 日本分類学会連合
- 共催** 国立科学博物館・日本魚類学会
- 日時** 2023 年 1 月 7 日 (土) 13:30~16:10
- 会場** オンライン開催(事前申込制)
- 対象** 一般の方(中学生以上)および研究者、大学生・大学院生
- 定員** 300 名 ※先着順 1 月 4 日 (水) 締切
- 参加費** 無料

本シンポジウムはおもに一般の方を対象とした公開シンポジウムです。研究者のみならず、生物や科学にご興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。ご参加にあたっては、以下の点にご注意ください。

- 1) シンポジウムへの参加には事前申込が必要です。参加をご希望の方は、事前に下記 URL より参加登録をお願いいたします。  
<https://forms.gle/JGtHHZDnE21aKTQG9>
- 2) 本シンポジウムは「Zoom」を使用して行われます。事前に必要な環境をご確認ください。
- 3) ご不明な点はメールにて [ujssbsympo@gmail.com](mailto:ujssbsympo@gmail.com) までお問い合わせください。

**趣旨**

生物の日本語名(和名)には、地方名や品種名、商品名など様々なですが、中でも標準和名は生物の分類単位や分類階級を特定するための学術的日本語名であり、社会的に生物についての共通理解を得るためのキーワードです。例えば、「同じ種」であれば原則として「同じ標準和名」で表記される必要があります。このことは学術研究の分野に止まらず、学校教育や社会教育はもとより、行政や法律の現場においてもきわめて重要な意味を持っています。しかしながら、標準和名には異名(同一種に対して複数の名称がある場合)や同名(異なる種に対して同じ名称がある場合)、音揺れによる不統一(ホホとホオ、四つ仮名表記など)、差別的語(メクラやバカなど)に起因する不使用や言い換えなどの混乱がみられ、その解決は様々な事情から容易ではありません。本シンポジウムでは、標準和名と

いう概念がどのような歴史的経緯を経て成立したのかを解き明かし、併せて様々な分野の実情を共有することで課題解決に向けての理解を深めるきっかけにしたいと思います。

瀬能 宏 (日本魚類学会)

**プログラム**

- 13:30~13:40 開会あいさつ
- 13:40~14:00 【基調講演】標準和名とは何か:その歴史と概念の成立  
 瀬能 宏: 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 14:00~14:20 小さな生き物に名前を付ける意義:海産無脊椎動物の和名問題  
 大塚 攻: 広島大学
- 14:20~14:40 モズクとモヅク:一つに決まらない海藻の種の和名と日本藻類学会の取り組み  
 北山太樹: 国立科学博物館
- 14:40~14:45 休憩
- 14:45~15:05 世界中の哺乳類に和名を付ける:世界哺乳類標準和名目録  
 川田伸一郎: 国立科学博物館
- 15:05~15:25 日本鳥学会の取り組みと鳥の和名の命名法  
 西海 功: 国立科学博物館
- 15:25~15:45 昆虫の和名にみる思い思いの命名問題  
 渡辺恭平: 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 15:45~16:05 総合討論
- 16:05~16:10 閉会あいさつ

講演タイトル・プログラム順は仮のものです。最終版はウェブサイトに掲示される講演要旨集をご確認ください。

\*\*\*\*\*

**日本分類学会連合加盟学会の  
大会・シンポジウム情報**

**日本魚類学会**

2023 年度日本魚類学会年会・総会  
 会期: 2023 年 9 月 (調整中)  
 会場: 長崎大学文教キャンパス (長崎市)

**日本菌学会**

2023 年度日本菌学会第 67 回大会  
 会期: 2023 年 5 月 26 日 (金) ~28 日 (日)

会場： 熊本県民交流会館パレア（熊本市中央区）  
備考： ハイブリッド形式またはオンライン

た。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほか  
に、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討  
論をするための場を提供することにあります。した  
がって、このリストは本連合の加盟学会の会員ば  
かりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開  
放されます。なお、リストへの登録など管理、運  
営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録  
会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が  
登録くださいますようご案内申し上げます。

2003年12月21日  
日本分類学会連合  
代表：加藤雅啓

**日本古生物学会**

2023 年第 172 回例会  
会期： 2023 年 2 月 3 日（金）～5 日（日）  
会場： 九州大学・病院キャンパス（福岡市東区）  
備考： ハイブリッド形式

**日本植物分類学会**

2023 年度日本植物分類学会第 22 回大会（千葉大会）  
会期： 2023 年 3 月 1 日（水）～5 日（日）  
会場： 千葉大学西千葉キャンパス けやき会館  
（千葉市稲毛区）  
備考： ハイブリッド形式（ポスター発表は 3 月 1 日  
にオンライン開催、その他は 3 月 3 日～5 日  
にオンサイト開催）

〈TAXA〉は 2003 年 12 月 13 日に開設され、2003 年 12  
月 24 日午後 5 時に稼動開始しました。2022 年 12 月 19  
日の時点で 1002 名の会員が登録されています。入会  
を希望される方は、

- 1) メールアドレス
- 2) 氏名（日本語表記ならびにローマ字表記）
- 3) 所属

を明記の上、〈TAXA〉日本分類学会事務局  
(office@ujssb.org)までご連絡ください。

**日本生物地理学会**

2023 年度日本生物地理学会第 78 回大会  
会期： 2023 年 4 月 8 日（土）～9 日（日）  
会場： オンライン  
備考： 4 月 8 日：市民シンポジウム、  
4 月 9 日：一般発表、シンポジウム

メーリングリスト〈TAXA〉の投稿先アドレスは  
taxa@ml.ujssb.org です。

**日本ダニ学会**

第 32 回日本ダニ学会大会  
会期： 2023 年 9 月 22 日（金）～24 日（日）  
会場： かでる 2.7 北海道立道民活動センター  
（札幌市中央区）  
備考： ハイブリッド形式を予定

\*\*\*\*\*

**[編集後記]**

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様  
から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛  
(antist@tmu.ac.jp)に電子メールでお送りください。  
皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。  
(ニュースレター編集担当：江口克之)

**日本動物分類学会**

日本動物分類学会第 58 回大会  
会期： 2023 年 6 月（調整中）  
会場： 豊橋市自然史博物館（豊橋市）

\*\*\*\*\*

**日本哺乳類学会**

日本哺乳類学会 2023 年度大会 100 周年記念大会  
会期： 2023 年 9 月 7 日（木）～10 日（日）  
会場： 琉球大学（沖縄県西原町）、なは一と（那覇市）

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合ニュースレター 第 40 号

2022 年 12 月 20 日発行

発行者 日本分類学会連合

事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館・筑波研究施設内

編集者 江口克之（東京都立大学大学院理学研究科）

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

**TAXA —— 生物分類学メーリングリスト**

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト  
〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をす  
るためのメーリングリストで、生物分類学に関心をも  
つすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリング  
リストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる  
研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野  
の普及と発展に寄与することを目的(規約第 2 条)」  
として、2002 年 1 月 12 日に設立されました。現在、  
分類学に関係の深い 27 の学会が加盟しています。そ  
の後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展  
開してきましたが、このたび新たな事業として「メ  
ーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりまし